



プレスリリース

PPG、アジアでの大津波災害の復興に向けて寄付

2005年1月24日

【米国ペンシルベニア州】

PPG は、最近アジアで発生した大地震と大津波災害後の救援・復興活動に対して、10 万ドル(約 1050 万円)を超える寄付を行った。

「空前の死者となっていることに、たいへん心を痛めています。特に死者の 3 分の 1 近くが子供たちであり、生き残れても親を失ってしまった子供たちが多いという事実には、悲しみを禁じ得ません。PPG は、今回の大災害によって被害を受けた数多くの人々や地域に役立てたいと考え、米国とカナダの赤十字社に対して約 10 万ドルを寄付しました。」こう語るのは、PPG の会長兼 CEO のレイモンド・W・ラバァフだ。

これに加えて、同社は、クロロアルカリ事業を通じて、化学品を提供し、被害地域での水の浄化に役立っている。

さらに、ラバァフ会長兼 CEO は、米国内の PPG 社員、退職者と役員に対して、今回のアジアでの災害発生後 90 日以内に米国赤十字社の International Response Fund(国際救援基金)に寄付すれば、それと同額の寄付金がピーピージー・インダストリーズ財団からも寄付されることを通知した。これは、過去の大災害の場合と同じ扱いである。また、米国内の居住者が 2005 年 1 月 31 日までに寄付をすれば、最近議会を通過した改正税法によって、2004 年分の確定申告で大津波復興義援金特別控除が受けられるようになっている。

「PPG の一人一人が力を合わせることで、被害地域の人々が復興に向けた長い道のりをゆっくと歩み始めるための助けになりたいと心から願っています。赤十字社には、災害復興に関する実質的な短期、長期的計画があります。今回の災害に対する寄付金は、大津波の救済と復興のために全額、直接投じられます。復興への取組みに役立てば幸いです。(ラバァフ会長兼 CEO)」

ピッツバーグに本社を置く PPG は、世界でトップクラスの自動車用塗料メーカーであり、工業用塗料、容器用コーティング剤のグローバルサプライヤーである。また主に北米では建築用塗料のリーディングカンパニーでもある。さらに、PPG は板ガラス、加工ガラス、ガラス繊維（連続ストランド）、化学品も生産している。

お問い合わせ先:

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-15-1

渋谷クロスタワー13階

PPGジャパン(株)

工業用塗料部

TEL 03-3476-7015

FAX 03-5778-2557

大阪営業所: 06-6376-3161 名古屋営業所: 052-914-6565

E-mail: sales_japan@ppg.com

ホームページ: <http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustrialCoatings/Japan>